



発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

日造協主催 第45回 全国造園デザインコンクール



文部科学大臣賞と国土交通大臣賞をはじめ特別賞受賞者と審査委員で記念撮影

文部科学大臣賞 3年連続 山梨県立農林高校 国土交通大臣賞 若原千花子さん (埼玉県立熊谷農業高校)

日造協は、第45回全国造園デザインコンクールの表彰式を2月17日、東京都千代田区二番町の東京グリーンパレスで開催。今回から(公財)都市緑化機構の協力により新設した「緑化フェア「みどりの広場」プラン部門」をはじめ、各賞の授与、受賞者による作品発表を行った。全国造園デザインコンクールは、造園空間のデザインと設計技術の向上を図ることを目的に日造協主催、(一社)ランドスケープコンサルタント協会、全国高等学校造園教育研究協議会共催、文部科学省、国土交通省、全国農業高等学校長協会、(公社)日本造園学会、(公財)都市緑化機構、NHKの後援で実施している。

なお、造園デザインコンクールについては、日造協ホームページに詳細が掲載されています。受賞作品の図面データも拡大できます。ぜひ、ご活用ください。

第45回全国造園デザインコンクールは、「住宅庭園部門」に一般・大学26、高校170、「街区公園部門」に一般・大学25、高校41、「商業施設部門」に一般・大学3、高校26、「実習作品部門」に一般・大学5、高校19、今回新設した高校1、2年生対象の「緑化フェア「みどりの広場」プラン部門」94の合わせて、409点の応募があり、入選32点、佳作31点、奨学賞25点が選ばれた。

表彰式では冒頭、主催者より和田新也

日造協会長があいさつ。受賞者へのお祝いとともに指導された先生方や関係者への感謝、今後のコンクールの発展と社会への貢献に向けた期待を述べた。

次いで、田畠淳一文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当)付産業教育振興室教科調査官、五十嵐康之国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長が祝辞を述べた。

表彰式は、今回から二部構成で行われ、第一部では、特別賞の授与、審査委員長

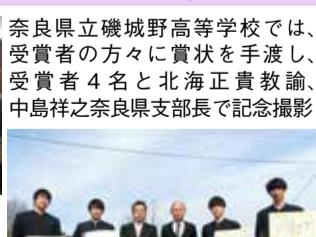


意見交換会のようす

受賞者に直接表彰状を！各支部の取り組み広がる



愛媛県立西条農業高等学校の表彰式は、愛媛県支部から高須賀盛満支部長が参加して行われた



奈良県立磯城野高等学校では、受賞者の方々に賞状を手渡し、受賞者4名と北海正貴教諭、中島祥之奈良県支部長で記念撮影

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！

本号の主な内容

- 2、3面 【特集】第45回全国造園デザインコンクール
審査講評 藤井英二郎審査委員長ほか
入選作品 国土交通大臣賞 若原千花子さんほか
4面 【ふるさと自慢】長野県支部 高嶋俊郎(事務局)
「岳都・学都・楽都」城下町 松本市
【緑滴】高知県支部 中尾香代(高知緑化建設株)
「ゆったり」「ほっこり」が私の休日

「平成」から新たな年号へ…時代をつなぐ広報

「平成」は、1989年1月8日に始まりました。

元号は、『史記』五帝本紀の「内平外成(内平かに外成る)」、『書經』大禹謨の「地平天成(地平かに天成る)」に由来し、国内外、天地とも平和が達成されるとの意味であると、竹下内閣の小渕内閣官房長官が「墨書」を掲げ、記者会見を行いました。

この「平成」の時代は5月1日、皇太子さまの新天皇即位に伴い幕を閉じ、新たな元号の時代が始まり、安倍首相は4月1日、閣議決定後、新元号を公表するとしています。

本号では、会報の紙面から平成の時代を振り返り、新たな年号の時代につなげていきたいと思います。



平成元年、会報は「月刊日造協」として発行。昭和60年に改題、この年に日造協が国際園芸家協会(AIPH)に加盟し、平成2年(1990)の国際花と緑の博覧会を開催することができました。この時、協会を牽引していたのが和田貞次会長で、2つの時代を見事につなぎ、業界飛躍のトピックを成功させました。

また、建設省の公園植栽工新設、造園工事の例示に「広場、園路」が追加されたのも昭和60年で、こうした流れもあり、平成6年(1994)に、造園工事業が指定建設業に指定され、土木・建築など、従前の指定5業種と肩を並べ、「公園・緑化技術5ヵ年計画」も策定され、さらに発展しました。

整備が拡大する一方で、日造協は、造園の職能を明らかにし、適正な管理に向けた取り組みを進め、造園工事基幹技能者の育成を本格化、平成11年(1999)「街路樹剪定士」、平成15年



(2003)「植栽基盤診断士」を創設しました。平成15年は、指定管理者制度が施行。整備から管理に向けた動きが加速し、平成18年(2006)の都市公園法施行50周年に合わせて、「日造協 全国造園フェスティバル」を展開、広く市民に向けた取り組みが本格化することとなりました。

現在も連載が続いている『学会の目・眼・耳』は、平成20年(2008)の(公社)日本造園学会と締結した包括協定を生かした最初の実践で、この後、平成29年(2017)に全国高等学校造園教育研究協議会、平成30年(2018)に(公財)都市緑化機構と包括協定を締結し、昭和の時代から続いてきた「全国造園デザインコンクール」でも、これらが連携し、初めてコンクール受賞作品の具現化が決定。「信州花フェスティバル2019」のメイン会場に間もなくお目見えします。



奇しくも、フェスティバルの会期は、4月25日から6月16日と、平成から新たな年号の時代に渡って開催されます。

昭和から平成へとさまざまな取り組みをつなげ、展開してきたように、平成から新たな時代へも確実につながっています。

「日造協ニュース」では、今後も紙面を通じて、時代や会員の皆様方につないでまいります。

が、可能な限り直接お渡ししようと、今年は9支部、12校で実施し、賞状の授与はもちろん、意見交換なども行うなど、インターンシップや就業対策、製図や安全指導など、学校と協会との連携などについても話題となり、有意義な機会となった。

第45回全国造園デザインコンクール 表彰状持参支部と対象校

持参支部	受賞者在籍高校
埼玉県支部	埼玉県立熊谷農業高等学校 埼玉県立児玉白楊高等学校
東京都支部	東京都立農業高等学校
山梨県支部	山梨県立農林高等学校
長野県支部	長野県南安曇農業高等学校 長野県須坂創成高等学校

持参支部	受賞者在籍高校
静岡県支部	静岡県立静岡農業高等学校
愛知県支部	愛知県立猿投農林高等学校
滋賀県支部	滋賀県立湖南農業高等学校
奈良県支部	奈良県立磯城野高等学校
愛媛県支部	愛媛県立西条農業高等学校

第45回全国造園デザインコンクール 審査講評 入選作品

■藤井 英二郎委員長
(千葉大学園芸学部名誉教授)

第45回全国造園デザインコンクールでは、これまでの住宅庭園、街区公園、商業施設、実習作品に加えて、緑化フェア「みどりの広場」部門が加わり、応募総数は前回より大幅に増え、409点となりました。

第45回全国造園デザインコンクール受賞者

賞 部門	氏 名	学校名	学年
文部科学大臣賞		山梨県立農林高等学校	
国土交通大臣賞	街区	若原千花子 埼玉県立熊谷農業高等学校	3
造園学会賞	住宅	宇野さやか E & G アカデミー	1
日造協会長賞	実習	田畠 幸 京都府立農芸高等学校	3
CLA会長賞	住宅	鶴本 啓太 E & G アカデミー	1
学校長理事長賞	商業	橋本 冠斗 東京都立農業高等学校	3
造園協議会賞	住宅	相山 恵 山梨県立農林高等学校	3
劇アーティスト賞	プラン	市川 大樹 山梨県立農林高等学校	1
入選	住宅	伊藤 有紀 愛知県立猿投農林高等学校	3
入選	住宅	大塚 皓英 E & G アカデミー	1
入選	住宅	後藤 彩衣 愛知県立猿投農林高等学校	3
入選	住宅	清水 優希 滋賀県立八日市南高等学校	3
入選	住宅	辻田 美瑠 滋賀県立湖南農業高等学校	3
入選	住宅	根本 環楨 奈良県立磯城野高等学校	3
入選	住宅	藤原 竹琉 長野県須坂創成高等学校	3
入選	住宅	丸山 結衣 長野県南安曇農業高等学校	3
入選	街区	小池 真世 長野県須坂創成高等学校	3
入選	街区	牧 愛果 長野県須坂創成高等学校	3
入選	街区	渡邊 美織 静岡県立静岡農業高等学校	3
入選	商業	小口 菜奈 長野県須坂創成高等学校	3
入選	商業	熊田 里紗 滋賀県立八日市南高等学校	3
入選	商業	村瀬 もも乃 愛知県立猿投農林高等学校	3
入選	実習	倉林 瑞宝 埼玉県立児玉白楊高等学校	3
入選	実習	新庄 泉美 滋賀県立湖南農業高等学校	3
入選	実習	高橋 葉 奈良県立磯城野高等学校	3
入選	実習	橋本 冠斗 東京都立農業高等学校	3
入選	実習	福岡 李奈 西日本短期大学	2
入選	実習	松木 菜緒 愛媛県立西条農業高等学校	3
入選	実習	安田 迅 西日本短期大学	2
入選	プラン	佐藤 夏 奈良県立磯城野高等学校	2
入選	プラン	鶴田 巴映 埼玉県立熊谷農業高等学校	2
入選	プラン	藤田 悠斗 山梨県立農林高等学校	1
入選	プラン	古川正太郎 山梨県立農林高等学校	1
佳作	住宅	加知 佑太 愛知県立猿投農林高等学校	3
佳作	住宅	岸 加奈子 E & G アカデミー	1
佳作	住宅	砂坂 天音 滋賀県立湖南農業高等学校	3
佳作	住宅	田上 真彩 滋賀県立湖南農業高等学校	3
佳作	住宅	西田 はなび 山口県立宇部西高等学校	3
佳作	住宅	波多野 恵 E & G アカデミー	1
佳作	住宅	福嶋 葵理 愛知県立猿投農林高等学校	3
佳作	住宅	藤岡 大幹 E & G アカデミー	1
佳作	住宅	本郷 玖磨 滋賀県立湖南農業高等学校	3
佳作	住宅	牧野 竜哉 E & G アカデミー	1
佳作	住宅	松原 みちえ E & G アカデミー	1
佳作	街区	澤田 果鈴 愛知県立猿投農林高等学校	3
佳作	街区	菅谷 琴音 滋賀県立八日市南高等学校	3
佳作	街区	中島 穂乃香 静岡県立静岡農業高等学校	3
佳作	街区	日置 陽太 名城大学	4
佳作	街区	森 美月 名城大学	4
商業	魚住 龍矢 愛媛県立松山聖陵高等学校	3	
佳作	商業	小川 愛未 愛知県立猿投農林高等学校	3
佳作	商業	黒木 実幸 南九州大学	3
佳作	商業	内藤 風季 東京都立農業高等学校	3
実習	住宅	石田 花穂 長野県南安曇農業高等学校	3
佳作	実習	芋坂 彩 香川県立石田高等学校	3
佳作	実習	新藤 周平 栃木県立板木農業高等学校	3
佳作	実習	関口 翔太 札幌工科専門学校	2
佳作	実習	真鍋 海翔 愛媛県立西条農業高等学校	3
佳作	実習	吉岡 啓 山口県立田布施農工高等学校	3
佳作	プラン	牛丸 茜 静岡県立静岡農業高等学校	2
佳作	プラン	片岡 千智 静岡県立静岡農業高等学校	2
佳作	プラン	畠 楓 山梨県立農林高等学校	1
佳作	プラン	藤原 武琉 奈良県立磯城野高等学校	2
佳作	プラン	湯浅舞有子 長野県須坂創成高等学校	2



応募総数の9割近くを占める高校生では、どの部門でも新鮮な問題意識や力作が多く見られ、先生方の督励・指導に一生懸命に応えた生徒が数多くいた証じで、嬉しくなりました。

新設の緑化フェア部門では、材料費30万円以内という条件と展示パネルの位置に苦心したようですが、いろいろなアイデアが見られました。

大学生では、住宅庭園と実習には、さすがと思われる優れた内容が数多くみられたのですが、街区公園では応募点数は多かったものの内容が物足りませんでしたし、商業施設は応募そのものが少なく残念でした。

大学生は行動範囲も広く、知識や経験も豊かなのですから、現状が抱える課題に果敢に挑んでほしいと思います。現状は認では、よいデザインは生まれません。高い理想を掲げて、現状を改善するデザインを期待しています。

■田畠 淳一委員 (文部科学省初等中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室教科調査官)

第45回全国造園デザインコンクールに入選された皆様、おめでとうございます。今年度の文部科学大臣賞は、上位入賞数が多く、複数の特別賞を受賞された山梨県立農林高等学校となりました。生徒の個性を大切にしながら各部門においてきめ細かに指導されている点が高く評価されました。

応募された作品は、どの作品も皆様の日頃の努力と学習の成果を見ることができ平成最後のコンクールとしてふさわしい力作ばかりでした。これまでの皆様の努力に敬意を表し、御指導いただいた先生方に改めて感謝を申し上げます。

さて、作品制作には、日頃の学習活動で造園に関する「知識・技術」、「主体的に取り組む態度」を身に付け、「思考力、判断力、表現力」を高めていく必要があります。

その学習活動としての「造園デザイン」の外部評価として「全国造園デザインコンクール」があり、全国農業高等学校長協会で推奨している「アグリマイスター顕彰制度」でも上位に位置付けられたものであります。

そのような意味合いからも、今後も多くの高校生の一つの目標として当コンクールが充実・発展し、農業教育及び造

園教育の礎になることを祈念し講評とします。

■五十嵐康之委員 (国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長)

第45回全国造園デザインコンクールに応募して頂いた方々に感謝を申し上げます。また、入賞された皆様、誠におめでとうございます。

国土交通大臣賞は、高校生の部街区公園部門の若原千花子さんの作品が受賞されました。

いつの時代にも求めら

れる身近な街区レベルの防災公園について、センター施設、住宅地等に隣接する敷地条件を設計に反映させていることからは、都市公園に関するしっかりした理解が見受けられます。

防災公園に求められる平常時・非常時利用のバランスも良く、街区公園の限られた空間でありながら、外縁部に防火植栽を配置し、健康ゾーンをはじめとした使いやすい機能レイアウトも高く評価されました。

セミナーハウス等の施設デザインには個性も見られ、子どもたちの笑い声が聞こえそうな感じが伝わってきます。

指導に当たられた先生方に心より敬意を表しますとともに、素晴らしい作品を作り上げた皆様の活躍をご期待申し上げます。

■篠沢 健太委員

((公社) 日本造園学会理事)

日本造園学会会長賞としてE&Gアカデミー宇野さやかさんの「地層の家」を選びました。

この賞は、新たな技術開発に資する最も独創性や先進性を有する作品に授与しています。

本作品は、熊本県阿蘇の老恐竜学者の庭を、「フィールドミュージアム」にするものです。すでに海外では、自然科学や歴史文化をまちや庭に展開し、「ミュージアム化する」先進事例があります。

本案では個人の住宅の庭を展示空間として構成し、自然観察や科学への普及啓発、さらにコミュニティの場へと織りなす可能性と技術が独創的に提案され、優れた表現とともに高く評価されました。

■渡邊 清美委員 (全国高等学校造園教育研究協議会理事長)

ご応募戴きました作品は、細部まで工夫されており、時間を掛け丁寧に仕上げ



国土交通大臣賞

千花子 埼玉県立熊谷農業高等学校

られた作品が多く見られました。ご指導戴いている先生方に感謝申し上げます。

農業高校長協会理事長賞は、商業施設部門の東京都立農業高校、橋本冠斗さんのOasis～緑、自然、癒し、笑顔のあふれる場所～の作品で、商業施設の特長をよく捉えた利用する人の緑との関わり方が提案された作品でした。

次に、造園教育研究協議会長賞は、山梨県立農林高校、相山玲さんの笑顔が生まれる陽だまりの庭の作品で、雑木を中心には居住者と街に住む方に対して、自然の発見や触れ合える作品でした。どちらの作品も、細部までよく考えた作品でした。

■伊藤 文喜委員 (全国高等学校造園教育研究協議会副理事長)

本年度多くの応募をいただきありがとうございました。時間をかけたレベルの高い作品が多く、応募された皆様の努力と各校におけるご指導の成果であると思います。

数多くの作品において特に、実習作品の部においては、施工場所にコンセプトと現況との調和を考えた計画と、綿密に作業に取り組まれた結果が示され計画図に表現されました。このことは造園教育上からも優れたプロジェクト学習の形であると感じました。

また、緑化フェア「みどりの広場」プラン部門では1、2年生らしい、テーマに合った素直なデザインが多く、山梨農林高等学校、市川大樹さんのデザインは信州フェアに実際に施工、展示され来場者の注目を集めました。

併せて、模型を製作してデザインの構想をまとめた応募作品も多く見られました。庭園の構成要素と施設の配置を、時間をかけて把握し効果的に考える手法がとられていました。

■渡邊 清美委員 (全国高等学校造園教育研究協議会理事長)

ご応募戴きました作品は、細部まで工夫されており、時間を掛け丁寧に仕上げ



大塚 皓英 E & G アカデミー



根本 環楨 奈良県立磯城野高等学校



牧 愛果 長野県立須坂創成高等学校



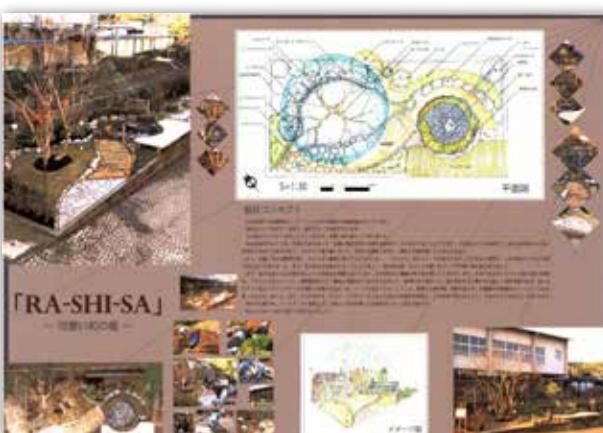
後藤 彩衣 愛知県立猿投農林高等学校



渡邊 美織 静岡県立静岡農業高等学校



(公社) 日本造園学会会長賞
宇野 さやか E & G アカデミー



(一社) 日本造園建設業協会会長賞
田畠 幸 京都府立農芸高等学校



(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞
鶴本 啓太 E & G アカデミー



全国農業高等学校長協会理事長賞
橋本 冠斗 東京都立農業高等学校



全国高等学校造園教育研究協議会会長賞
相山 怜 山梨県立農林高等学校



緑化フェア「みどりの広場」プラン賞
市川 大樹 山梨県立農林高等学校

■新畑 朋子委員 ((一社) ランドスケープコンサルタンツ協会・技術委員)

住宅庭園は面積が狭いけれどデザイン要素がたくさんあります。入口から玄関まで、主庭、副庭など、それぞれの場所で違うデザインと機能を求められます。

この作品の主庭、副庭は防災庭園という、新たな発想でまとめられています。

防災庭園というと何か危険なイメージを持ちますが、この作品では戸外室の使い方を提案しています。

日常から自然災害に対する備えと意識を持って暮らすことはこれから社会に求められる命題だと思います。そのひとつの答えを住宅庭園の中に表現した素晴らしい作品だと思いました。

■宮下和正委員 ((公財) 都市緑化機構専務理事)

今回初めて創設された「みどりの広場」プラン部門には、94名もの多くの高校生からそれぞれ力作が応募されました。

今回は特にフェア会場での実物出展をするため、予算を考えながらのプラン作

成が条件となりました。また、会場にプラン説明用の掲示板を置く位置についても評価の対象となりました。

受賞作品はいづれも、現実に与えられた予算の範囲の中で作成でき、4月から始まる信州フェアにふさわしいテーマを持ったものと多くの評価を得ました。

実際にプランが現実になると頭で考えたテーマと乖離があるかもしれません、完成した時の感動の方が多いと思います。

■伊藤 幸男委員 ((一社) 日本造園建設業協会業務執行理事・技術委員長)

今年度の日本造園建設業協会会長賞は、実習作品部門の田畠幸さんの作品を選びました。デザイン全体に若々しい発想にあふれ、音の風景を取り入れることによって庭を使う人にも見る人にも楽しさを演出してくれています。今回の応募作品の中には、「場」のシチュエーションをあまり考えずに閉じられた空間をデザインしたものも一部に見られました。

田畠さんの作品はデザインコンセプトと実習作品の優秀さももちろんですが、

コンクールという場を意識した、審査する側へのしっかりと主張も感じられるプレゼンボードで、応募要項をよく理解し、作品を良く伝えようとする姿勢が好感を持ちました。

■正本 大委員 ((一社) 日本造園建設業協会業務執行理事・事業委員長)

デザイン担当委員長として、全体的な感想を書かせていただきます。

昨年以上の力作も寄せられると共に、新たな部門に対して、高校1・2年生の

参加が増えましたことが大変喜ばしく感じています。

設計テーマに最近のニーズ、話題やトレンドを反映された作品も見られ、デザインに輝きを添える発想にも感心いたしました。設計を行うにあたって、メンテナンス性や近将来的な変化も予想しながら、生きている空間づくりに取り組んで頂ければと思います。

次年度もワクワクする作品をお待ちしております。



村瀬 もも乃 愛知県立猿投農林高等学校



倉林 瑞宝 埼玉県立児玉白楊高等学校



新庄 泉美 滋賀県立湖南農業高等学校



熊田 里紗 滋賀県立八日市南高等学校



橋本 冠斗 東京都立農業高等学校



福岡 李奈 西日本短期大学



松木 菜緒 愛媛県立西条農業高等学校



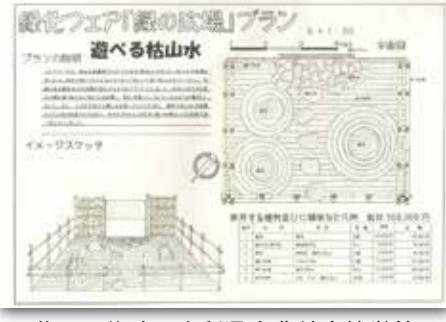
安田 迅 西日本短期大学



佐藤 夏 奈良県立磯城野高等学校



鶴田 巴映 埼玉県立熊谷農業高等学校



藤田 悠斗 山梨県立農林高等学校



古川 正太郎 山梨県立農林高等学校

ふる
と
長
野
県
自慢

「岳都・学都・樂都」
城下町・松本市



国宝：松本城

壮大な大自然、数々の温泉、善光寺、避暑地軽井沢、白馬、志賀高原のスキー場など自慢は尽きない長野県

ですが、今回は「第36回全国都市緑化信州フェア」のメイン会場となる松本市をフェアにお越しの際に参考になればと紹介させていただきます。

■松本城

松本市の中央に位置し、現存する五重六階の天守の中では日本最古の国宝です。

別名鳥城ともいわれ黒と白のコントラストが周囲の山々に映えています。参観の所要時間は45分～60分、狭く急な

階段に用心してください。優れた築城技術も見ものです。

■城下町を歩く

城郭を中心に一方通行、細い道、丁字路などが多い城下町ならではの街です。お城までの大名町通り、白壁と黒なまこの土蔵が立ち並ぶ中町通りなど歴史を感じながら城下町歩きをお楽しみください。

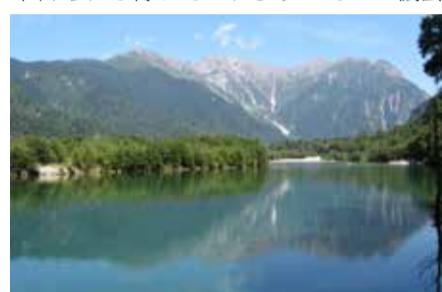
また、北アルプスの伏流水が湧き出る湧水地帯で井戸の名水めぐりも人気です。そしてこのおいしい水を活用した信州そばの店がそれぞれの味を楽しませてくれます。



土蔵が並ぶ中町通り⑤ 湧水群の井戸の一つ「源智の井戸」④ 重文：旧開智小学校④

■岳都・松本 (3,000m級の山々の玄関口)

ここでは日本を代表する山岳景勝地「上高地」を紹介させていただきます。4月27日が開山祭、このころはまだ冬の景色ですが5月の中旬頃からは五月晴れに恵まれ優しい新緑と花々に包まれます。梓川の清流と澄んだ空気そして顔前に望む穂高連峰は最高です。市内からは半日あれば行つてこれますのでこの機会



上高地（大正池と穂高連峰）

是非挑戦してください。

■学都・松本（教育尊重の威風漂う街）

貧しかった信州は「学問で身を立てる」という風潮があったようです。近在の篤志家によって建てられた日本で最も古い小学校の一つ重文の旧開智小学校校舎。著名人を多く輩出した旧松本高等学校など教育にかけた情熱を感じてください。

■樂都・松本

（セイジ・オザワ松本フェスティバルの音楽の街）

国際的な音楽祭として世界から注目されています。今年も8月に開催される予定です。

最後に浅間温泉、白骨温泉など泉質のいい数々の温泉を抱える地域です。お泊りはぜひ温泉で日頃のお疲れを癒してください。

高嶋 俊郎（長野県支部事務局）

「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」発刊のお知らせ

都市公園等の公園・緑地において樹木の老朽化による枯枝の落下、枯損木による倒木の発生により利用者への危害や他の公園施設に破損が及ぶことが危惧されるなど公園・緑地の管理上の新たな課題が顕在化しています。

このため、公園・緑地樹木の良好な育成や安全対策の実施を通じて、公園・緑地の機能的確な保全・確保・向上が求められています。

また、建設業法の改定に伴う造園工事の例示の見直しにより「緑地育成工事」が追加されましたが、関連する用語の定義が課題となっています。

そのため、技術委員会（調査・開発部会）では、公園・緑地樹木の維持管理技術者育成や用語定義の必要性に鑑み、「街

路樹剪定士」資格制度で培ってきた知見や技術に基づき「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」としてとりまとめ発刊いたしました。

ぜひ公園・緑地樹木の管理にご活用ください。なお、今後は本書をもとに「公園・緑地樹木管理士研修会」を実施してまいります。

本書は日造協ホームページから購入できます。
<http://www.jalc.or.jp/publish/index.html>



日造協 新入会員のご紹介

社名 / 住所	代表者 / FAX
並木造園(株) 小林 謙二郎 埼玉県川越市木野目 1590-1 ☎ 049-235-2012 FAX 049-235-2393	
(有)山口造園 山口 武夫 埼玉県比企郡川島町正直 729 ☎ 049-297-1346 FAX 049-297-1392	

社名 / 住所	代表者 / FAX
アート緑化土木(株) 岩崎 雅樹 埼玉県東松山市元宿 1-5-3 ☎ 0493-34-3203 FAX 0493-35-0135	
(有)山口造園 山口 武夫 埼玉県比企郡川島町正直 729 ☎ 049-297-1346 FAX 049-297-1392	

【3月】

- 1(金)・技能グランプリ（開会式1日、競技2～3日、閉会式4日）
- 5(火)・街路樹剪定土指導員研修会・スキルアップ研修会～6
- 12(火)・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
- 15(金)・街路樹剪定士認定委員会
- 18(月)・財政・運営部会
- 26(火)・地域リーダーズオンライン会議
- 27(水)・運営会議
- 28(木)・総支部長等会議
- 29(金)・第2回通常理事会

【4月】

- 9(火)・造園技術フォーラム部会
- 16(火)・全国造園デザインコンクール等推進部会
- 18(木)・登録造園基幹技能者講習委員会（試験委員会）
- 23(火)・植栽基盤診断士認定委員会
- 25(木)・第36回全国都市緑化信州フェア開会式

委員会等の活動

- 財政・運営部会
- 2/4 平成31年度事業計画（案）、平成31年度収入収支予算等についての審議を行つた。

年度末に向けて、日造協では会員の実態調査を行っています。実態調査は、各種要望などにも役立てる重要なものです。調査内容は別途ご連絡しています。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

会員の実態調査にご協力を

編集後記 まもなく元号「平成」が終わろうとしている。書類等は西暦記載に替えてゆこうという風潮だがやはり日本人としてはとても気になるところ。同時に「昭和」が「遠い過去」と呼ばれるようになるのだろうな、とひとりごと。

「ゆつたり」
「ほつこり」
が私の休日

高知県
緑化
建設
設備
代
高中
知
緑
尾
建
香
設
備
代
高中
知
緑
尾
建
香
設
備
代

その後、また娘の一言でプリザーブドフラワーのアレンジを始めました。

この頃は娘も自分で作るようになり一緒に作る時間が私の“ほっこり”とした楽しみの時間になりました。

姪っ子は夏休みの自由課題のために泊りがけで作りに来ました。大変豪快で

斬新なデザインにびっくりしたことは今でも忘れられません。

事務局の動き

【2月】

- 1(金)・国際委員会
- 4(月)・財政・運営部会
- 5(火)・広報活動部会
- 6(水)・中国総支部・支部交流会
- ・中国地方整備局との意見交換会
- ・登録造園基幹技能者講習委員会（試験委員会）
- 7(木)・運営会議
- 8(金)・街路樹剪定土認定委員会（試験部会）



ビーズドール



プリザーブドフラワー



ハーバリウム

そして主人の一言でハーバリウムを始めました。当時地元では教室がなく県外の講習を主人と一緒に受けに行きました。楽しく“ゆつたり”と気持ちの良い時間を過ごしました。

ハーバリウムはプリザーブドフラワーも使いますがドライフラワーも大変かわいいものです。

ドライフラワーはもちろん自分でシリカゲルを用いて手作りします。

ボタニカルハーバリウムを身近な植物をドライして自分で作ってみませんか。

12(火)・地域リーダーズ勉強会（京都）～13

13(水)・女性活躍推進部会

14(木)・要望・提言活動部会

15(金)・登録造園基幹技能者講習委員会

17(日)・事業委員会

・全国造園デザインコンクール表彰式

19(火)・造園領域発展戦略委員会・戦略立案部会

合同会議

20(水)・九州総支部・支部交流会

26(火)・人材育成部会

27(水)・関東地方整備局との意見交換会